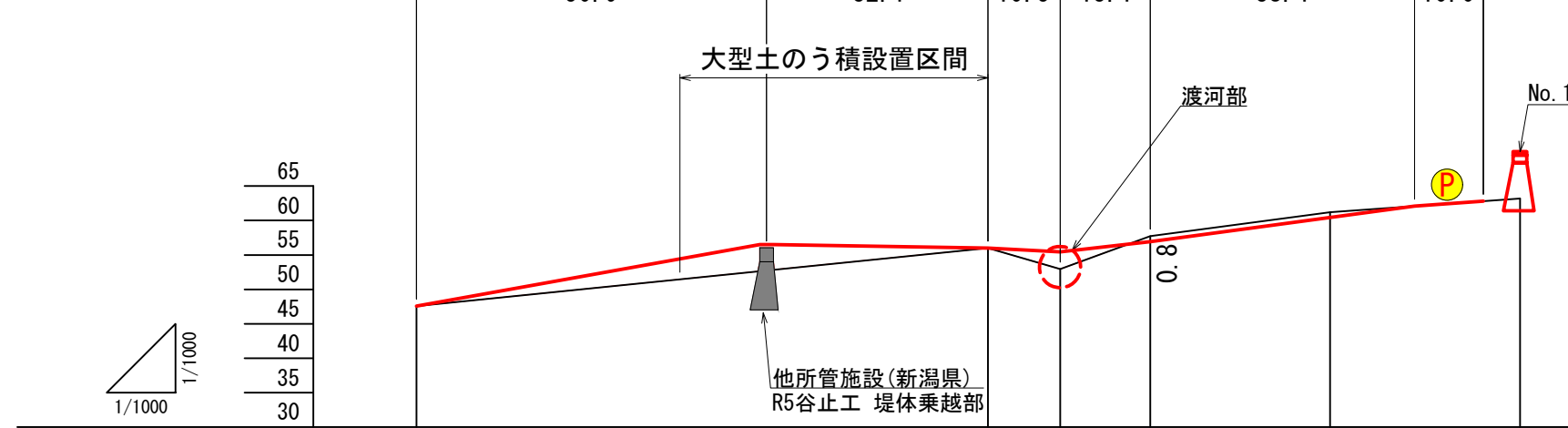


仮設作業道縦断面図

縦 1:1000
横 1:1000



計画勾配 (%)		18 (10)	-2 (-1)	-10 (-6)	11 (6)	13 (8)	
地盤高 (m)		47.57	56.01	52.96	57.73	61.22	63.21
追加水平距離 (m)		0.0	83.0	93.5	106.6	132.7	160.3
測点 (No)		(NO.10)	道1	道2	道3	道4	NO.038-1

1. 運搬工

No.1谷止工を施工する際の資機材等の運搬については、平面図に示すとおり国道113号から分岐する村道と新潟県が整備した既設作業道を使用するとともに、その終点から谷止工計画箇所にかけては新たに仮設作業道を約155m開設して行う計画とした。

また、踏切を含む村道及び既設作業道、開設する仮設作業道に対して、路面保護と走行性の向上等を目的に敷鉄板を設置することとする。

○仮設作業道開設

- 延長 : L = 155m (作業道145m + 作業ヤード10m)
- 切土量 (礫質土) : V = 77m³
- (軟岩 I B) : V = 169m³
- 盛土量 : V = 544m³
- 大型土のう積 : 100個

- ・渡河部 ポリエチレン管 : 2本 (φ0.5m, L=4.0m)
- 大型土のう積 : 30個

- ・作業ヤード 大型土のう積 : 20個

大型土のう積 (計) : 150個

○敷鉄板 (規格6.0m×1.5m) 6m当たり2枚使用 (幅員3.0m)

- ・踏切部 延長 20m ÷ 6m ≒ 4 × 2 = 8枚
- ・村道 延長 85m ÷ 6m ≒ 15 × 2 = 30枚
- ・既設作業道 延長 205m ÷ 6m ≒ 35 × 2 = 70枚
- ・仮設作業道 (作業道) 延長 145m ÷ 6m ≒ 25 × 2 = 50枚
- (作業ヤード) 10m × 6m ÷ (6 × 1.5) ≒ 7枚

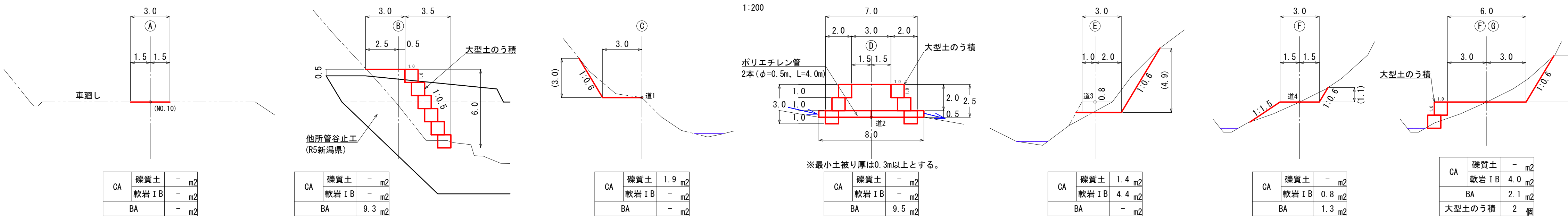
敷鉄板 (計) : 165枚

2. コンクリート工

No.1谷止工のコンクリート打設は、平面図に示すように開設した仮設作業道の終点に作業ヤードを設け、ポンプ車を配置してブーム打設により行う計画とした。

仮設作業道 標準断面図

1:200



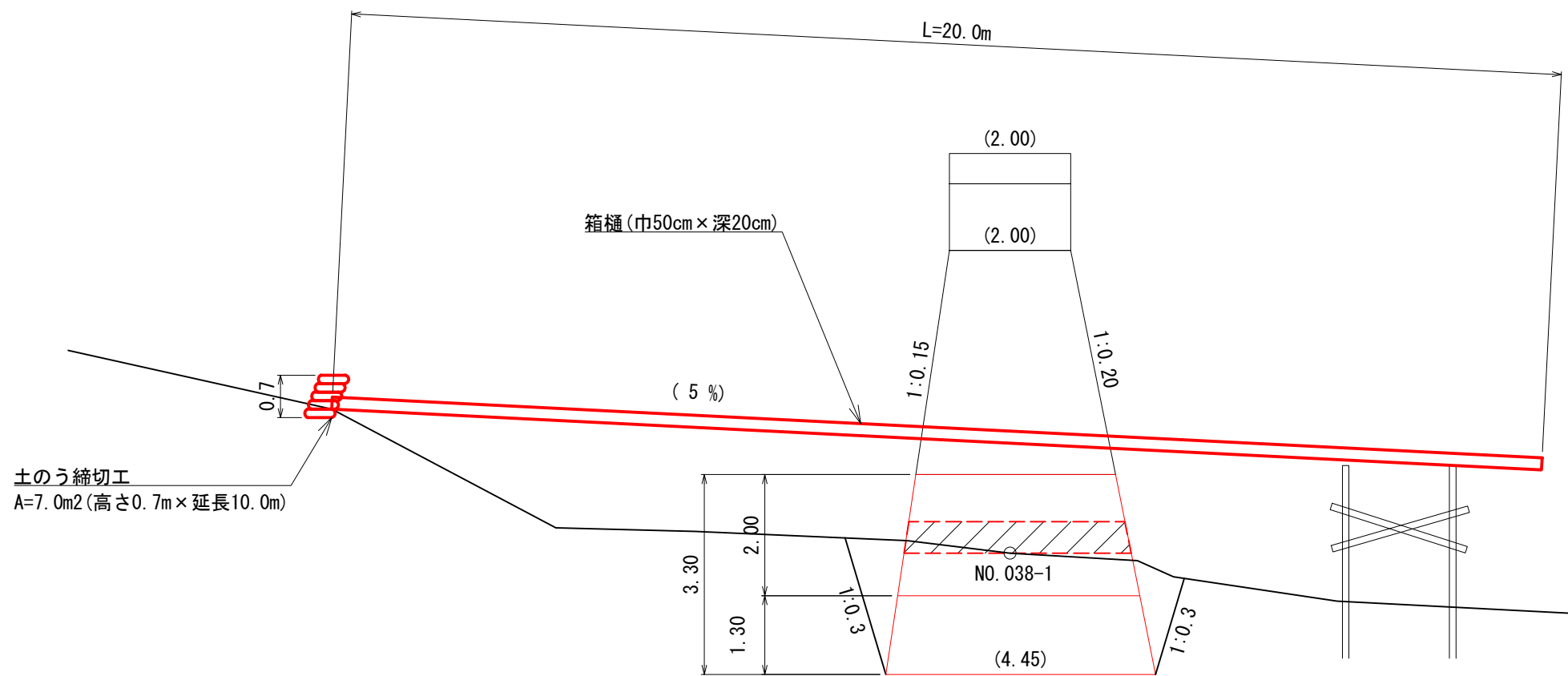
仮設作業道開設 土工量計算表

区分	延長 (m)	切土量 (CA: 礫質土)		切土量 (CA: 軟岩 I B)		盛土量 (BA)		備考
		断面積 (m ²)	体積 (m ³)	断面積 (m ²)	体積 (m ³)	断面積 (m ²)	体積 (m ³)	
A	-	-	-	-	-	-	-	作業道
B	50.9	-	-	-	-	9.3	236.7	
C	32.1	1.9	30.5	-	-	-	149.3	
D	10.5	-	10.0	-	-	9.5	49.9	
E	13.1	1.4	9.2	4.4	28.8	-	62.2	
F	38.4	-	26.9	0.8	99.8	1.3	25.0	作業ヤード
F'	-	-	-	4.0	-	2.1	-	
G	10.0	-	-	4.0	40.0	2.1	21.0	
計	155.0		77 (76.6)		169 (168.6)		544 (544.1)	

(田主沢地区: 溪間工)

図面名	仮設設計画図 (1/2)		
図面番号	縮尺	図示	

No. 1谷止工 廻排水標準断面図



3. 廻排水及び水替日数

No. 1谷止工を施工する際の廻排水は、表流水は箱樋と土のう締切により廻排水し、床掘内の湧水は工事用水中ポンプにより排水する計画とした。また、水替日数は以下のとおりである。

廻排水 【集水面積：11.3ha】

- ◎箱樋 L=20.0m (巾50cm×深20cm、集水面積0~15ha)
- ◎土のう締切 A=7.0m² (高さ0.7m×延長10.0m、集水面積50ha以下)
- ◎床掘内排水 堤底長4.5m×堤底幅4.45m×0.3=6.0m³/h
- ◎工事用水中ポンプ 口径150mm×1台 (排水量0以上40m³/h未満)
- ◎発動発電機 25kVA×1台 (排水量0以上40m³/h未満)

水替日数 $1/45 \times 234\text{m}^3(\text{床掘量}) + 1.78 = 7.0\text{日}$

(田主沢地区：溪間工)

図面名	仮施設計画図(2/2)		
図面番号		縮尺	1:100

0.0m 2.0m 4.0m 6.0m 8.0m 10.0m